

認知行動療法を学校・福祉・職場に 活かすために

場所：大阪教育大学 天王寺キャンパス 西館

日時：8月28日（日）10：00～16：00

参加費：第1部シンポジウム（10:00-12:00） 3,000円

第2部ワークショップ（13:00-16:00） 6,000円

【第1部+第2部 一般 8,000円、学生 6,000円】

本研究所は、総合病院精神科に勤めていた所長の「敷居が低く、早期支援ができる場所を提供したい」という思いにより1991年に開設され、地域の方々の日常から学校や職場における“こころ”の健康・発達の支援を25年間行って参りました。近年、認知行動療法・応用行動分析学を用いたカウンセリングや療育、コミュニケーション・スキルの向上を目指したプログラムの作成なども行っています。これらの療法は、「治す」ではなく、「学ぶ」を基本理念としており、個人や集団の特性や環境を考慮して、個々が「できること」を一緒に考えていきます。

対象者：保育園・幼稚園・学校の教員，スクールカウンセラー，職場メンタルヘルス推進担当者，人事労務担当者，臨床心理士および資格取得を目指す大学院生・学部生，医師，看護師，その他興味のある方

お申し込み方法：(株)みどりトータル・ヘルス研究所宛(workshop@midori-th.com)に以下の項目をご記入のうえ，メールにてお申込みください。

- ①ご氏名（ふりがな） ②ご所属 ③参加希望（1部のみ・2部のみ・両方）⇒2部の希望ワークショップ
④ご連絡先 ⑤臨床心理士資格の有無 ⇒臨床心理士番号 ⑥領収書の要・不要

※ 各ワークショップには定員を設けており，先着順になります。

※ 日本臨床心理士資格認定協会のポイントを申請予定です。

※ 1週間以内に担当者から返信致します。

返信がない場合は，再度，お問い合わせいただきますようお願い致します

※ 返信メールに振込先をご案内しますので，指定の口座へ参加費をお振込み下さい。

振込の確認を致しましたら受付証をお送りします。当日受付までご持参下さい。

お問い合わせ：(株)みどりトータル・ヘルス研究所 TEL：06-6203-2410 月～金曜日 9：30～17：30

担当：猪澤（いざわ）

～プログラム～

第1部のシンポジウムでは、開設25周年記念として、本研究所にご支援頂いている認知行動療法、応用行動分析学の専門家により、学校・職場、日常生活に活用できる当事者が「学ぶ」ための考え方の枠組みや実践的技法をご紹介します。

第2部のワークショップでは、ワーク等を通して、より実践的技法をご紹介します、皆様の明日からの臨床活動に役立てて頂けたらと考えております。認知行動療法、応用行動分析学の初学者の方のご参加も大歓迎です。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

➤ 第1部 シンポジウム 西館2F 第7講義室 10:00～12:00

「認知行動療法を学校・福祉・職場に活かすために」

司会：本岡寛子（近畿大学）

シンポジスト：

- 「『気になる子』を支える学級づくり：SSTを通してサポータティブな学級集団を作る」
大対香奈子（近畿大学）
- 「『学び』につながる教え方：応用行動分析学とインストラクショナルデザイン」
野田航（大阪教育大学）
- 「明るい家庭を目指した前向きな発達支援：積極的行動支援（PBS）の基本的な考え方」
藤田昌也（株式会社 みどりトータル・ヘルス研究所こども行動療育教室）
- 「ストレスチェック後のサポートづくり：キャリア支援・復職支援に活かす認知行動療法」
本岡寛子（近畿大学）

➤ 第2部 ワークショップ 西館2F 13:00～16:00

ワークショップ1 『発達障害のある子どもへの教育的な支援方法』

講師：藤田昌也（株式会社 みどりトータル・ヘルス研究所こども行動療育教室）

応用行動分析学（ABA）に基づく発達障害支援では、問題行動の修正だけではなく、当事者のQOLの向上に向けた前向きで教育的な支援が行われます。本ワークショップでは、就学前の発達障害のある子どもを対象として、社会適応に向けた教育的な支援の進め方とその視点を学びます。

ワークショップ2 『学校での子どもたちのニーズに応える応用行動分析学の技法』

講師：大対香奈子（近畿大学）・野田航（大阪教育大学）

学校現場においては、児童・生徒の多様なニーズに合わせた支援が求められています。本ワークショップでは、社会性および学習に関するニーズに焦点をあて、ニーズにあった支援を行うための具体的な方法について、応用行動分析学の観点から実践的に学びます。

ワークショップ3 『職場での高ストレス者への支援に活かす認知行動療法』

講師：本岡寛子（近畿大学）・三田村仰（立命館大学）

2015年12月よりメンタルヘルス・チェックが義務化されたことに伴い、職場内外の産業保健スタッフや医療関係者等に、高ストレス者への対応が求められています。本ワークショップでは、高ストレス者の対応の在り方の1つとして、有効性が実証されている認知行動療法の実践的技法を学びます。